学校番号	1012

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史演習Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	帝国書院　図説　日本史通覧						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日本の歴史の展開を諸資料に基づき、地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察していきます。日本の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会で主体的に生きる力をつけてもらいたい。授業では講義形式に加えてクロームブックを活用し、特に人物や出来事に焦点をあてた発表スライドを作成し、お互いに発表してもらいます。

2　学習の到達目標

・鎌倉時代から江戸時代について，地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけることができている。
・我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を身につけることができている。
・よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めることができている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・日本の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解している。 ・諸資料から日本の歴史に関する様々な情報を適切かる効果的に調べまとめる技能を身に付けている	・日本の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、次期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察し、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想している。 ・考察、構想したことを効果的に説明し、それらを基に議論している。	・日本の歴史の展開に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 ・よりよい社会の実現を視野に、自身との関わりをふまえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見いだそうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学	単元	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	武家政権の成立	1鎌倉幕府の成立 2武士の社会 3モンゴル襲来と幕府の衰退 4鎌倉文化	a:諸資料から情報を読み取る b：源平争乱から鎌倉幕府の成立過程、幕府と朝廷の二元的支配構造、封建制度の成立などについて理解している。 承久の乱が幕府と朝廷との関係に与えた影響について理解している。 宋・元などユーラシアとの交流に着目して、モンゴル襲来の国際的な背景や国内政治への影響について理解している。 c:公武関係の変化やユーラシアとの交流などに着目し、鎌倉時代の宗教や文化の特徴をまとめ生徒間で発表する。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	討論 発表 ワークシート
	武家社会の成長	1室町幕府の成立 2幕府の衰退と庶民の台頭 3室町文化 4戦国大名の登場	a:鎌倉幕府滅亡後の政治権力の推移と武家の関係、日明貿易の展開と琉球王国の成立などについて、諸資料から情報を収集して理解している。 諸産業や流通、地域経済が成長したことに着目し、諸資料から情報を読み取る。 b:庶民が台頭して村などの自治的な単位が成立したことを理解している。 経済の進展や各地の都市や村の発達、東アジアとの交流などに着目して、室町時代における多様な文化の形成や融合について理解している。 c:守護大名と戦国大名の権力の相違点などについて諸資料から情報を読み取り、戦国時代の大名による領国経営の特徴をまとめ生徒間で発表する。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	討論 発表 ワークシート
2学期	近世の幕開け	1織豊政権 2桃山文化	a:村落や都市の支配の変化、アジア各地やヨーロッパ諸国との交流に関する諸資料から情報を読み取る。 b：織豊政権の特色や貿易・対外関係について理解している。 c:桃山文化が幅広い国際性をもちつつ、生活文化の中にとけ込んでいったことについて、諸資料から情報をまとめ生徒間で発表する	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	討論 発表 ワークシート

	幕藩体制の成立と展開	1幕藩体制の成立 2幕藩社会の構造 3幕政の安定 4経済の発展 5元禄文化	a:織豊政権との類似と相違、アジアの国際情勢の変化などに着目して、諸資料をもとに江戸幕府の法や制度の確立や対外政策の推移について理解している。 幕藩体制下の支配体制や封建的身分秩序の形成に関する諸資料から適切に情報を読み取る b:江戸時代の社会の構造を理解している。 文治政治への転換から元禄時代・正徳期に至る政治の推移について理解している。 産業の発達、交通の整備や貨幣・金融制度の確立による商品経済・流通の発達、三都に関わる諸資料から情報を読み取り、技術の向上と開発の進展について理解している。 c:都市の発達と文化の担い手との関係などに着目して、17 世紀の文化の特徴などをまとめ生徒間で発表する。	定期考査 ワーク シート	定期考査 ワーク シート	討論 発表 ワーク シート
3学期	幕藩体制の動揺	1幕政の改革 2宝暦・天明期の文化 3幕府の衰退と近代への道 4化政文化	a:幕府・諸藩の経済的窮乏、百姓一揆・打ちこわしの頻発などに関する諸資料から情報を読み取る。 b:享保の改革や田沼時代の諸政策の意義について理解している。 幕藩体制下の社会の変容に着目して、宝暦・天明期における新たな学問の確立、各地に設立された教育機関の展開を理解している。 列強の接近にともなう事件や幕政改革に関する諸資料から情報を読み取り、幕府権力が衰退する一方で工場制手工業など近代の萌芽がみられ、雄藩が出現する過程を理解している。 c:政治・経済と文化の関係などに着目して、19 世紀初期の経済の動向や江戸を中心とする庶民文化の形成をまとめ、生徒間で発表する。	定期考査 ワーク シート	定期考査 ワーク シート	討論 発表 ワーク シート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度